

令和6年度 城東小学校 自己評価報告書

中央区立城東小学校 住所 中央区八重洲2-2-1

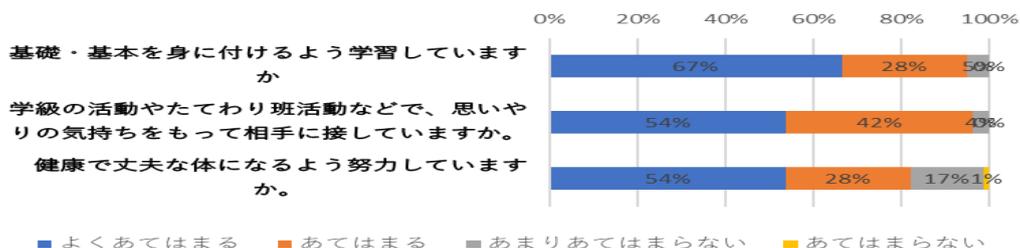
校長 平山 尚彦

児童数 229名 学級数 8 教員数 14名 職員数 16名

1 重点目標の達成状況及び取組状況

八重洲校舎で2年目となり、昨年度以上に地域、近隣企業との関わりが増え、地の利を生かした教育活動となってきている。一方で、狭小施設のため体力の増進などの取組には難しさがある。それが、アンケートにも表れている。

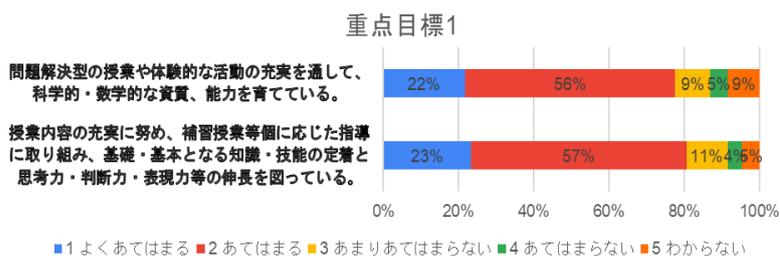
<児童> 重点目標



(1) 重点目標1「確かな学力の定着と伸長」

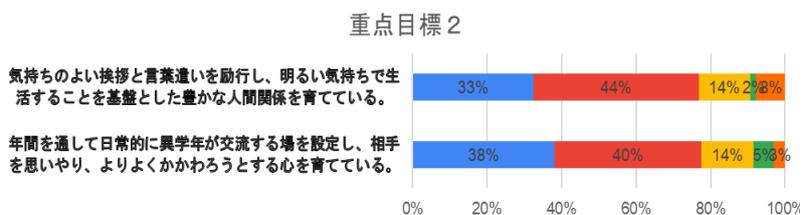
<保護者>

概ね良い評価を得たが、「わからない」、「あまり当てはまらない」の回答が増えている。取組を分かりやすく知らせていく必要がある。



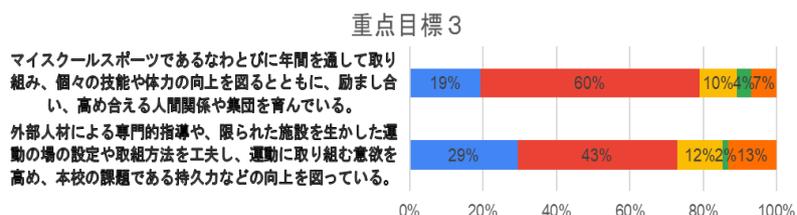
(2) 重点目標2「豊かな心と人間関係の涵養」

昨年度に比べ、肯定的評価が減っている。コミュニケーションのきっかけとして重要な挨拶が進んでできるようにするための取組を工夫していく必要がある。



(3) 重点目標3「健康でたくましい心と体づくり」

学校のきまりを見直し、児童も教職員も共通理解を図った。昨年度と同様な肯定的評価を得られた。



2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

- ・保護者アンケートでは、昨年度に比べ、「よく当てはまる」「当てはまる」の肯定的評価の割合が減っている。
- ・肯定的評価で9割をいただいたのは、「児童の努力を認めたり励ましたりして温かく接している」「行事や学校公開などを通して児童の学習の様子や生活がわかるようにしている」であった。引き続き、児童の共感的理解に努める。また、普段の学校の様子がお伝えできるように学校公開の方法を工夫していく。
- ・「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の回答が特に多かった項目は、昨年度に引き続き、「児童の悩み、トラブルを見逃さずに相談に乗ったり指導したりしている」であった。トラブルを見逃さないだけでなく、児童が自ら考え、トラブルを回避し、友好的な関係が築けるように、学校生活の中で取り組んでいく。
- ・自由意見の中で、理数教育パイロット校としての様々な取組を、十分に伝えることができていない面があることが分かった。活動内容の改善とともに、取組や成果についての情報発信を進める。
- ・児童アンケートでは、「学校の約束を守っていますか」「みんなで使う物を大切にしていますか」は、「よく当てはまる」よりも「当てはまる」の割合が増えた。学校生活に誠実に向き合い、よりよくしようとする意識を高めていく。
- ・「悩みなどについて話しやすい先生はいますか」については、他の項目に比べて低くなっている。児童との対話を図って児童理解に努め、児童が自ら考え、問題を解決できるように、指導・助言に努める。

3 今後の改善方策

- ・校舎をはじめ教育環境が大きく変化している中、本校でこれまで大切にしてきたことを継承しながら、教育目標について見直しを行う。
- ・問題解決力の育成を図るために、理数教育、地域、企業との連携の改善を行う。
- ・問題やトラブルに対しては、すぐに聞き取りや状況把握を行い、複数の教員で対応し、当該児童が納得して次に進められるように、引き続き迅速かつ丁寧な対応に努める。
- ・児童数の増加に対応した形でたてわり班活動の充実を図る。毎月のたてわり班活動のほか年間を通した長なわへの取り組み、入学式をはじめとした6年生と1年生の関わりや、上下の学年による学習発表や交流活動など、年間を通して計画的、継続的に行う。
- ・児童の学習タブレットの活用方法、学校図書館の活用については改善のための準備を進める。